

舞鶴引揚記念館 新春シンポジウム「海外からみたシベリア抑留」と「お年玉バックヤードツアー」 開催について

舞鶴引揚記念館では、国内外の若手研究者をお迎えし、最近の研究動向や世界からみた抑留の視点を発表する新春シンポジウム「海外から見たシベリア抑留」を開催いたします。また、シンポジウム参加者を対象に、普段は非公開の収蔵庫など博物館の裏側を特別に案内する「お年玉バックヤードツアー」も併せて実施いたしますのでお知らせいたします。

記



▲小林昭菜氏（法政大学）

1日時 平成 31 年 1 月 5 日（土）13 時～15 時

2会場 舞鶴引揚記念館セミナールーム

3講師と発表テーマ

○小林昭菜氏（法政大学非常勤講師・政治学博士）

「戦後のアジア史からみたソ連抑留」

○セルゲイ・キム氏（ロシア史科学アカデミー研究員）

「ロシアの研究者からみた抑留問題」

○森谷理紗氏（日本学術振興会特別研究員）

「音楽と抑留」※音楽学の観点から、抑留者とロシア民謡に関する研究発表

4 参加料：無料（別途入館料が必要）

5 バックヤードツアーについて

- ・シンポジウム参加者を対象に実施
- ・シンポジウム終了後、15 時開始（予定・30 分程度）
- ・先着 15 名（当日受付）
- ・学芸員による収蔵庫案内、資料保存の視点から展示室を見学するほか

6 その他

○今回のシンポジウムは、平成 31 年 1 月 6 日（日）に大阪（会場：中之島センター）で開催される「アジア世界史学会（AAWH）大会」の発表者である小林昭菜氏から、舞鶴引揚記念館事業へのご協力という形で国内外のシベリア抑留若手研究者による講演をご提案いただいて実現したものです。

参考：年末年始の休館日 12 月 29 日（土）～1 月 1 日（火） ※1 月 2 日（水）から開館

【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370

E - M a i l : hikiage@city.maizuru.lg.jp

